

A grayscale background image showing a close-up of industrial machinery, likely a lathe or similar metalworking equipment. The image is slightly blurred and serves as a backdrop for the text overlay.

2025年3月期 第3四半期

(2024年4月1日 ~ 2024年12月31日)

決算補足資料

2025年2月10日

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証プライム 証券コード:6928

(1) 2025年3月期第3四半期決算	P.3
(2) 2025年3月期業績予想	P.9

(1)2025年3月期第3四半期決算

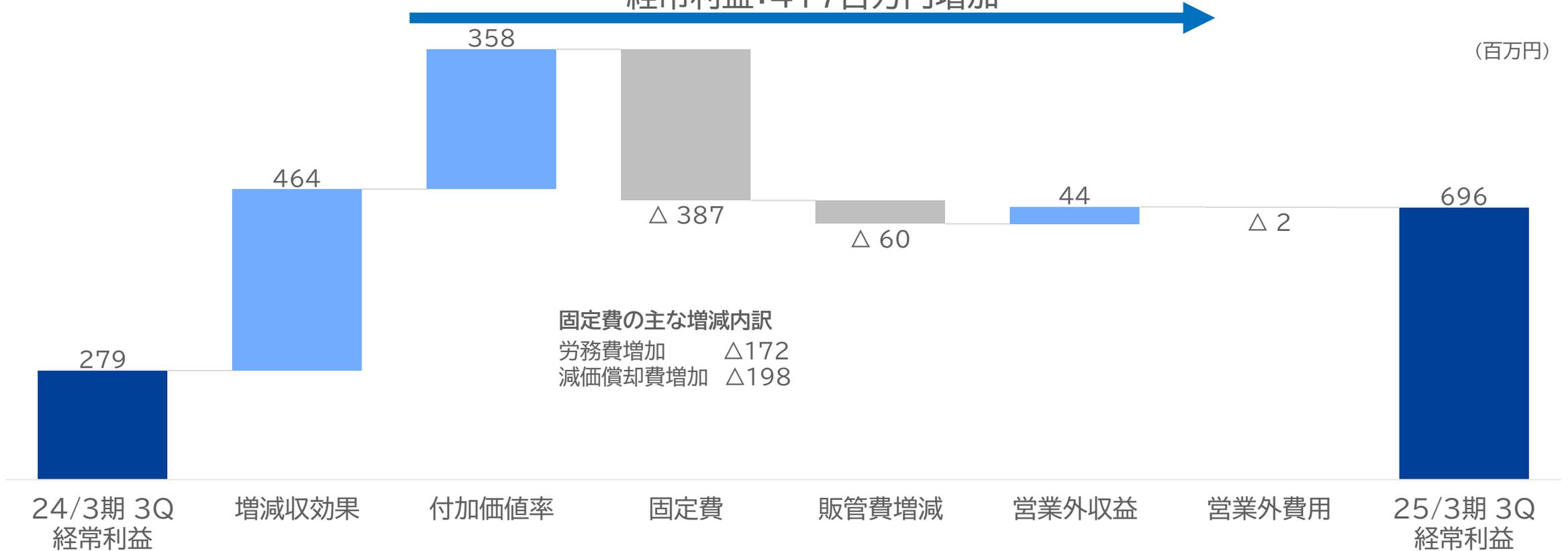


- ・ オプト用リードフレームでハイエンド品の出荷が始まったことや、コネクタ部品のウェアラブル端末向けが回復した影響に加え、円安の進行により増収増益
- ・ パワー半導体用リードフレームは産機の調整継続やEVの市場成長鈍化により、本格的な回復には至らず
- ・ 全体としては増収に伴い、稼働率が改善し粗利率も上昇

単位:百万円	2023/3期 3Q累計		2024/3期 3Q累計		2025/3期3Q累計		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	前同比(%)
売上高	22,690	100.0	19,190	100.0	20,336	100.0	6.0
売上総利益	3,404	15.0	2,095	10.9	2,529	12.4	20.7
販管費	1,889	8.3	1,854	9.7	1,914	9.4	3.2
営業利益	1,514	6.7	240	1.3	614	3.0	155.2
為替差損益	57	-	△12	-	△20	-	-
経常利益	1,644	7.2	279	1.5	696	3.4	149.4
四半期純利益	1,211	5.3	117	0.6	410	2.0	249.9

- 増減収効果 ウェアラブル端末向け等のコネクタ用部品が増加、オプト用リードフレームはハイエンド品の出荷開始
- 付加価値率 マイクロコネクタやクリップボンディングリードフレームの構成比上昇により製品ミックスは改善
- 固定費 生産能力増強に伴い金型等の減価償却費増加、稼働率上昇により労務費も増加

経常利益: 417百万円増加



- 車載はパワー半導体用リードフレームは前期比で小幅増加、エアバッグ用コネクタは横ばい
- スマートフォンは新モデル向けが前年比でやや減少、ウェアラブルが回復
- 民生・産機・その他の汎用パワー半導体用リードフレームが調整継続、LEDはハイエンド品の金型売上及び量産が始まり増加

民生・産機・その他

- 構成比は前期の28.9%から 1.4pt減少
前年同期比 1.1%減少
- PC向けを含む汎用パワー半導体用
リードフレームの在庫調整
- LED用リードフレームはハイエンド品出荷
開始により増加

ウェアラブル

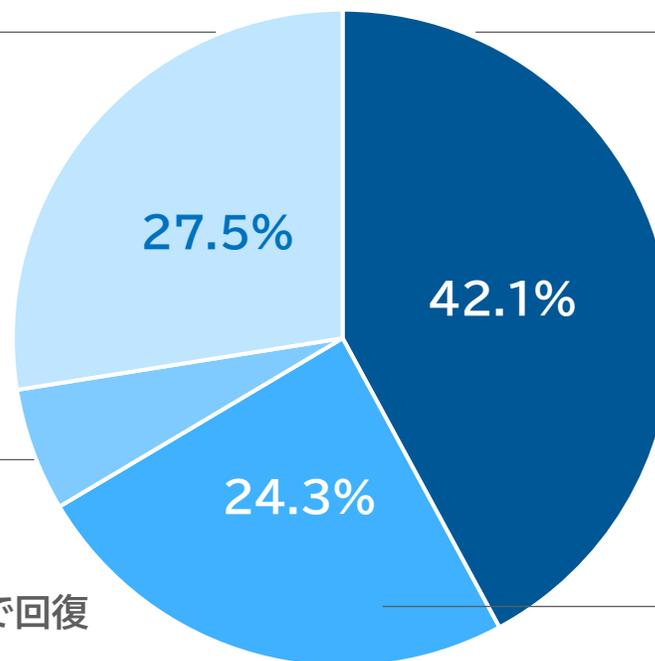
- 構成比は前期の2.2%から 3.9pt増加
前年同期比 187.3%増加
- ワイヤレスイヤホンやウォッチの新製品向けで回復

車載

- 構成比は前期の43.2%から 1.1pt減少
前年同期比 1.3%増加
- xEV向けパワー半導体用リードフレームは成長鈍化
- エアバッグ向けコネクタ等は横ばい

スマートフォン

- 構成比は前期の25.7%から 1.4pt減少
前年同期比 1.9%減少
- スマートフォン向けコネクタ部品の減少



- 第3四半期は前年同期比、第2四半期比ともに増収
- 利益面では、稼働率の上昇やオプト用リードフレームのハイエンド品や、コネクタ用部品のマイクロコネクタなど付加価値の高い製品の増加により前年同期比で大幅に増益

単位:百万円	2024/3期					2025/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	前同比(%)	2Q比(%)
売上高	6,426	6,593	6,169	6,053	25,244	6,506	6,912	6,917	+12.1	+0.1
売上総利益	722	642	730	558	2,654	749	902	877	+20.1	△2.7
販管費	590	637	626	639	2,494	645	648	620	△1.0	△4.3
営業利益	132	4	103	△80	160	104	253	256	+147.5	+1.2
為替差損益	12	16	△41	29	17	5	△61	35	-	-
経常利益	162	27	89	12	291	135	228	332	+272.8	+45.4
四半期純利益	96	△9	29	3	121	47	223	140	+370.7	△37.1

- 売上高は2024年3月期4Qをボトムに回復トレンド
- パワー半導体用リードフレームはEV向けの成長が一時鈍化、民生・産機向けは調整が続いた
- オプト用リードフレームは大型ディスプレイ向けの低迷が続いたが、ハイエンド品の量産が始まり、全体として底打ち
- コネクタ用部品はスマートフォン向けが減少し車載向けは前期並みだが、ウェアラブル端末向けは新製品向けで増加

単位:百万円	2024/3期					2025/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	前同比 (%)	2Q比 (%)
パワー半導体用 リードフレーム	3,164	2,832	2,516	2,598	11,112	2,662	2,734	2,738	+8.8	+0.1
オプト用 リードフレーム	712	662	648	624	2,647	728	742	901	+39.1	+21.5
コネクタ用部品	2,437	2,970	2,863	2,717	10,989	2,959	3,248	3,114	+8.8	△4.1
その他	112	129	141	112	495	156	188	163	+15.4	△13.2
合計	6,426	6,593	6,169	6,053	25,244	6,506	6,912	6,917	+12.1	+0.1

(2) 2025年3月期業績予想



- 売上高、営業利益とも上方修正、第4四半期は季節調整期だが、第3四半期までウェアラブル向けを中心にコネクタ用部品が好調
- 来期は車載向けのコネクタ用部品の回復やオプト用リードフレームのハイエンド品の生産拡大などのプラス要因があり、2024年3月期をボトムに回復に向かうという中期経営計画の方向は変わらず
- 付加価値の高い製品の増加に加え、在外子会社における外貨売上高の円安影響を加味して、増収増益を予想

単位:百万円	2024/3期		2025/3期 期初予想		2025/3期 修正予想		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	予想	売上比(%)	前期比(%)
売上高	25,244	100.0	25,500	100.0	27,000	100.0	+7.0
売上総利益	2,654	10.5	3,150	12.4	3,200	11.9	+20.6
販管費	2,494	9.9	2,550	10.0	2,550	9.4	+2.2
営業利益	160	0.6	600	2.4	650	2.4	+305.6
経常利益	291	1.2	600	2.4	700	2.6	+139.8
当期純利益	121	0.5	450	1.8	450	1.7	+271.0
1株当たり当期純利益	18.16円	-	68.26円	-	68.26円	-	-
配当金	70.0円	-	71.0円	-	71.0円	-	-

- ・ パワー半導体向けリードフレームは中国向けの民生・産業機器向けが調整継続
- ・ オプト用リードフレームはハイエンド品の量産が始まり、四半期ごとに増加する見通し
- ・ コネクタ用部品はスマートフォンの新モデル向けで第4四半期に季節調整

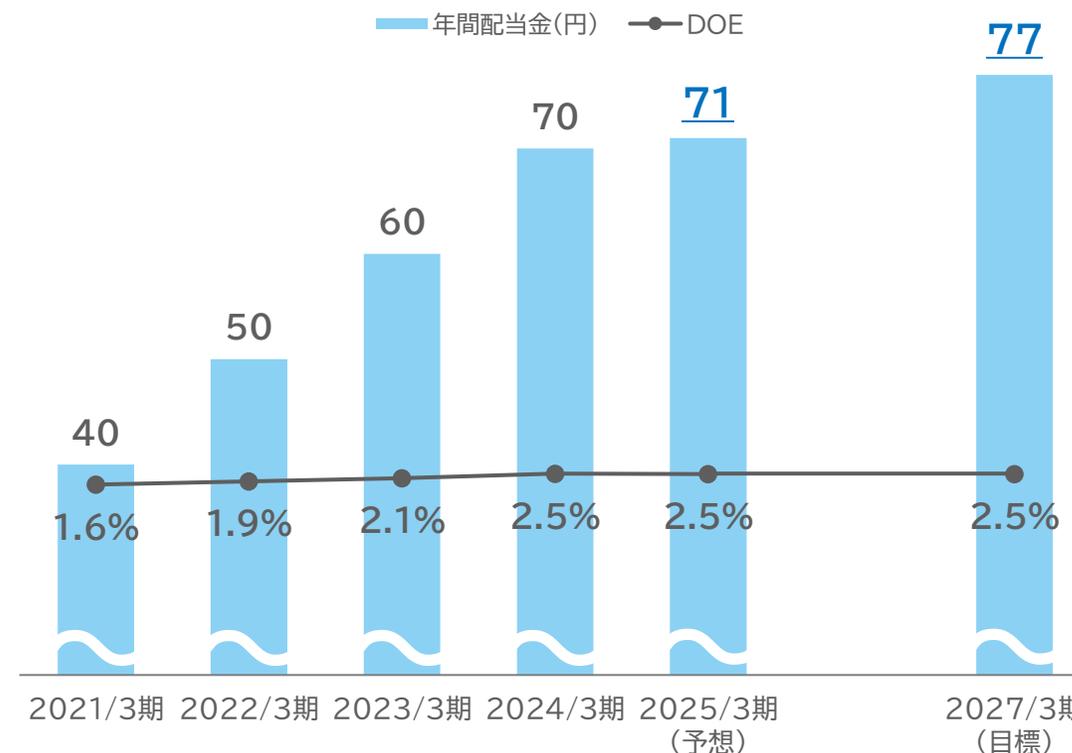
単位:百万円	2023/3期		2024/3期		2025/3期		前期比(%)
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	予想	構成比(%)	
パワー半導体用 リードフレーム	11,973	40.9	11,112	44.0	11,000	40.7	△1.0
オプト用 リードフレーム	3,719	12.7	2,647	10.5	3,500	13.0	+32.2
コネクタ用部品	12,912	44.1	10,989	43.5	12,000	44.4	+9.2
その他	659	2.3	495	2.0	500	1.9	+1.0
合計	29,265	100.0	25,244	100	27,000	100.0	+7.0

- 期初の配当予想を継続
- 2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更、2025年3月期は71円(DOE2.5%)への増配を計画

2024年3月期以降の配当方針

- DOE*2.5%以上を配当の数値基準とする
- 中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- 2025年3月期は71円配当を予定(DOE2.5%)

配当金・DOEの推移



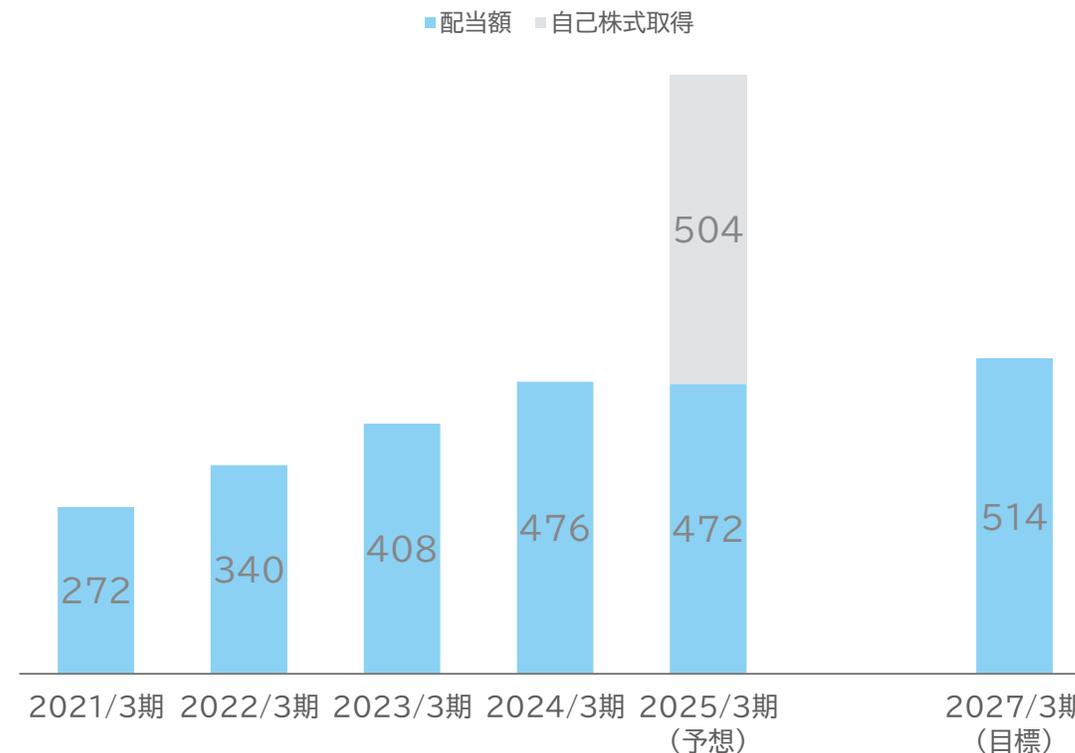
* DOE(自己資本配当率) = 年間配当額 / 株主資本

- 機動的な資本政策の実行及び資本効率の向上を通じた株主利益の向上を図るため、自己株式の取得を実施(8月9日公表)
- 12月9日の取得をもって、取得株式総数上限(35万株)に到達し終了

自己株式取得

- 株式の種類：当社普通株式
- 取得株式総数：35万株
(発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合 5.1%)
- 取得総額：504百万円
- 取得期間：2024年8月26日～12月9日
(取得株式上限到達により終了)

株主還元の推移



* 25/3期の配当額は上限の自己株取得と株式報酬制度による交付が行われたものとして試算

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。